

【開園時間】

期 間	無料区域	有料区域
4月～6月、10月～11月	8:00～19:30	8:30～19:00
7月～9月	8:00～20:30	8:30～20:00
12月～3月	8:00～18:30	8:30～18:00

【休館日】

7月の第一水曜日とその翌日

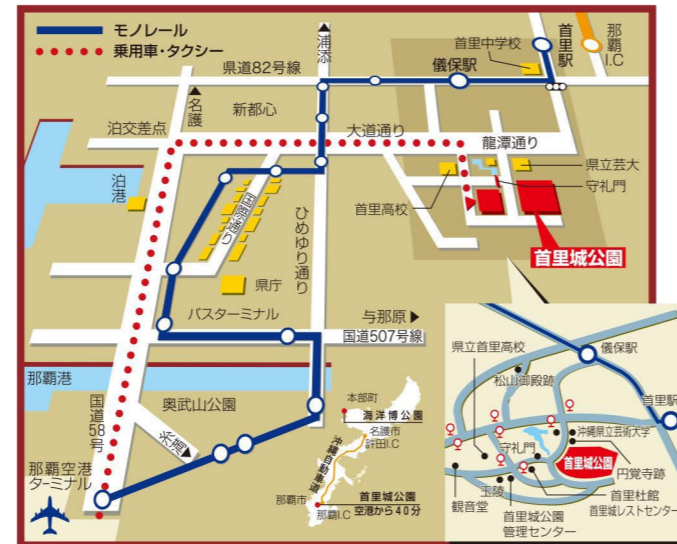
※ 入館券販売締切は閉館時間の30分前

【入館料金】

	大人	中人(高校生)	小人(小・中学生)
一般料金	820円	620円	310円
団体料金	660円	490円	250円
年間パスポート	1,640円	1,240円	620円

- ・団体は20名様以上
- ・モノレール(ゆいレール)のフリー乗車券(一日券・二日券)をご利用中のお客様は、首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により、団体料金の適用となります。
- ※ フリー乗車券の有効期限内において、一枚につきお一人様一回限りの割引となります。

【アクセス】



※ 駐車場に限りがありますので、バス、タクシー、モノレール等の公共交通機関をご利用ください。

お得! 首里城公園年間パスポート

入館料2回分の料金で、1年間何度でも入館できるお得なパスポート。



- 更新特典
- ① 首里城公園直営売店のオリジナル商品がパスポート提示で10%割引!!
  - ② 抽選で1万円分の商品券を進呈!

海洋博公園のご案内

10/27[土]・28[日] 会場 海洋博公園 夕陽の広場 **観覧無料**

海洋博公園 熱い歌声が響き渡る夢の2日間!!

# アニソンの日

キッチンカーによる「おいしいもの広場」もあるよ!

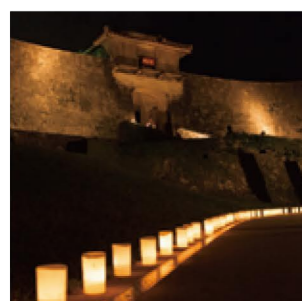
夕陽の広場特設ステージ

あの日夢中になって見ていた懐かしのアニメ、王道のアニメの曲が生歌で聴ける! アニソンファンはもちろん、子どもから大人まで、世代を超えてお楽しみいただけます。

お問い合わせ  
海洋博公園管理センター Tel.0980-48-2741

※実施内容は変更になることがあります。詳細はHPなどでご確認ください。 [海洋博](#) [検索](#)

27[土]	28[日]
<p>13:00-16:00</p> <p>代表曲「勇者王ガオガイガー」 遠藤正明</p> <p>代表曲「CHA-LA HEAD-CHA-LA」 ドラゴンボールZ 影山ヒロノブ</p> <p>代表曲「(空・音・情・魂)」 ドラゴンボール改 谷本貴義</p> <p>代表曲「[無限のアクエリオン]」 創聖のアクエリオン blues4</p>	<p>13:00-16:00</p> <p>代表曲「[This game]」 ノーゲーム・ノーライフ 鈴木このみ</p> <p>代表曲「[DreamRiser]」 ガールズ&amp;パンツァー ChouCho</p> <p>代表曲「[STRAIGHT JET]」 IS (インフィニット・ストラトス) Minami</p> <p>アニメ「はい!七葉」 首里城公園 首里城レトロセンター やびくがりん</p>



題字：御城だより  
御城(ウグシク)とは首里城の敬称。首里では今でも親しみを込め、この呼び方が使われています。

表紙：首里城祭「万国津梁の灯火」  
日が暮れる頃、首里城公園内はたくさんの灯りとキャンドルで彩られます。幻想的な灯りに包まれて、いつもとは違う表情を見せる夜の首里城。この日だけの特別な夜をぜひお楽しみください。

御城だより Vol.5 秋号 季刊誌

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1-2  
TEL: 098-886-2020

【発行日】2018年10月1日

【編集・発行】国営沖縄記念公園(首里城地区)、県営首里城公園  
指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

URL <http://oki-park.jp/shurijo/>

# 御城だより

UGUSHIKUDAYORI

2018  
10

新収蔵品展

## 守れ!琉球の宝

時を超えて甦る美術工芸品

首里城公園企画展

## 御後絵と琉球絵画

色彩豊かに蘇った琉球国王

## 百人御物参

ももそおもこのまいり

首里城・内の世界「御内原」秘められた女性たちの祭祀世界への扉が開く

Column

## 琉球王国と空手

～武術、教養、芸能の側面をもつ空手～

琉球王国時代の風が吹く  
SHURIJO CASTLE FESTIVAL 2018  
首里城祭

# 首里城祭

琉球王国時代の風が吹く

首里城で育まれた華やかな琉球舞踊「舞への誘い特別公演」や、幻想的な灯りに包まれる「万国津梁の灯火」など、琉球王朝文化を堪能していただけるイベントです。



## 目の前に広がる 豪華絢爛、琉球歴史浪漫

琉球王国の華やかなりし姿が一大絵巻行列として再現されます。琉球国王・王妃の行列に伝統芸能団がつづき、総勢約700名による壮大な琉球の歴史物語が、那覇市国際通りを舞台に繰り広げられます。

### Ryukyu Dynasty Parade 琉球王朝絵巻行列

りゅうきゅうおうちようえまきぎょうれつ

**実施日** 2018年10月28日(日)  
**時間** 12時30分～14時30分  
**場所** 那覇市国際通り  
(交通規制時間:12時00分～15時00分)  
**料金** 無料



## 琉球王国の都 首里の栄華を再び

「古式行列」は琉球国王の行幸のひとつ、正月三日の初行幸と呼ばれる「三ヶ寺参詣行幸」を再現したものです。琉球王国時代、国王が国家の安寧と五国豊穰を祈願するため、首里城下にある三つのお寺を参詣した様子をお楽しみください。

Traditional Procession

### 琉球王朝祭り首里「古式行列」

りゅうきゅうおうちようまつりしりこしきぎょうれつ (主催:首里振興会)

**実施日** 2018年11月3日(土・祝)  
**時間** 12時50分～15時30分  
**場所** 首里城公園 御庭～守礼門～龍潭通り  
**料金** 有料区域のみ要入館料

### 華麗なる芸能の宴 舞への誘い特別公演

**実施日** 2018年10月27日(土)  
～11月3日(土・祝)  
**時間** 10月27日・10月28日:11時00分～20時30分  
10月29日～11月3日:11時00分～16時30分  
**場所** 首里城公園 下之御庭(系図座・用物座)



### 国王・王妃への謁見 国王・王妃出御

**実施日** 2018年10月27日(土)  
**時間** ①10時30分 ②13時30分 ③15時30分  
**場所** 御庭  
**料金** 無料 ※要入館料



### 約6000本の灯りが彩る幻想的な世界 万国津梁の灯火

**実施日** 2018年10月27日(土)  
28日(日)  
**時間** 17時00分～21時00分  
**場所** 首里城公園内及び周辺園路  
**料金** 無料 (協力:NPO法人万国津梁の会)



### 泡盛文化の魅力に触れる 「琉球泡盛の粋」in 銭蔵

**実施日** 2018年11月1日(木)  
～4日(日)  
※本プログラムは4日(日)まで開催予定  
**時間** 10時00分～16時00分  
**場所** 銭蔵、首里杜館  
**料金** 無料



### 夜の古城に響き渡る 首里城音楽祭

**実施日** 2018年10月27日(土)  
28日(日)  
**時間** 16時00分～20時00分  
**場所** 首里城公園内  
**料金** 無料



### 世界に誇る伝統文化 空手の日関連行事

**実施日** 2018年10月28日(日)  
**場所** 国際通り、首里城公園内  
**料金** 無料



※イベントの内容は変更になる可能性がありますので、予めご了承ください。最新情報は、ホームページをご確認ください。

# 守れ! 琉球の宝

～琉球関係文化財収集  
初お披露目展～

## 時を超えて甦る 美術工芸品

首里城公園では、琉球王国の崩壊及び第二次世界大戦により散逸した、琉球王国時代の美術工芸品の収集を行っております。また、収集資料の中から経年の劣化による破損や汚損のある資料について、貴重な文化財である美術品の劣化の進行を止め、後世に残すために修繕作業を行っております。

修繕の過程では、光学調査や顔料分析、データ収集など、資料に施された製作技術について綿密な調査・研究を行います。そこで知り得たそれぞれの時代の特徴的な技法や歴史背景への様々な知見は、後の文化財修理技術と琉球の歴史の解明に大きく貢献しているのです。

今回は、これまでに収集した美術工芸品から、まだお披露目されていない収蔵品や、修繕後、初公開となる資料などを紹介する新収蔵品展「守れ! 琉球の宝」を開催いたします。



裏紙の除去作業

【南殿二階特別展示室】

## 守れ! 琉球の宝

～琉球関係文化財収集初お披露目展～

会期 2018年10月5日(金)～12月13日(木)

※ 作品保護のため、一部展示替えがあります。



中山門図

## 浮かび上がる 当時の描写

「中山門図」は、王都首里の第一の門であった中山門とそこを行き交う人々の様子を描いた絵図です。中山門は、1428年に創建された中国風の牌楼形式の門で、約100年後に創建された守礼門と同形同大であったといわれています。現在の首里高校の西側に位置し、守礼門からは西へ約500mのところにあります。東の守礼門を「上の綾門」と呼んだのに対し、西の中山門を「下の綾門」と呼び、対をなす美しい門として親しまれていました。

その中山門と守礼門をつなぐ道は「綾門大道(アヤジョウウフミチ)」美しい門の道と呼ばれ、もっとも大きい琉球王国第一の道とされました。かつて、道の両脇には王家の別邸や王府関連の建物、寺院などが並び、本図にはその建物や琉球の石積みの特徴である「隅頭石」が表現されています。道沿いには市場も設けられ多くの人が行き交い、賑わいをみせていたようです。その様子は色鮮やかに描かれた本図からも垣間見ることができます。

中山門は、琉球王国崩壊後、老朽化が進み1908年(明治41)5月に解体・撤去されました。その後復元はされておらず、その姿を描いた絵図や写真等の資料は少なく、本図は貴重な資料のひとつです。



くろうるしかちようみつだえはくえぼん  
黒漆花鳥密陀絵箔絵盆



てつちゆうしようしぶる  
鉄釉丁子風炉

「黒漆花鳥密陀絵箔絵盆」は、黒漆の丸盆に、岩から伸びる椿の花の周りを鳥と蝶が飛び交う様子が描かれています。本資料は、その構図を少しずつ変え10枚組で収蔵されています。随所に金粉や金箔をあしらった動きのあるそのデザインは、当時の優雅を思わせます。

また、現在では数少なくなった工芸品の中から「鉄釉丁子風炉」を紹介します。

丁子風炉とは、現在でいう「香炉」のようなもので、往時、首里の士族が来客時などに使用しました。上蓋を外して中に水を張り、香料として丁子(クローブ)のつぼみを入れ、下では炭を焚き丁子を煎じてその香気を出し、清々しい空気で客をもてなしたのです。

琉球の歴史の中にも香を愛で、心豊かな暮らしの様子を伺い知ることができます。

# おごえ 御後絵と 琉球絵画

## 色彩豊かに蘇った 琉球国王

琉球国王が崩御された後に描かれる肖像画「御後絵」は、沖縄文化史においても大変貴重な絵画作品のひとつです。

現在は首里城公園の中で展示されている御後絵ですが、実は城内にあったわけではなく、首里城の北側にある円覚寺(えんかくじ)というお寺にありました。

往時は円覚寺仏殿の壁画として王の肖像が描かれていましたが、円覚寺がたびたび火災に遭ったため、1717年に王府絵師の山口宗季(やまぐちそうき)によりすべての御後絵が掛軸に改装されました。廃藩により琉球王国が解体すると、御後絵は国王世子の邸宅である中城御殿(なかぐすくどうん)に移され保管されたといわれます。

鎌倉芳太郎(かまくらよしとろう/沖縄研究の第一人者)は、戦前の中城御殿で10人の国王の御



しょうわおう  
第十七代 尚瀛王



しょういおう  
第十八代 尚育王

後絵を撮影しており、その図像はモノクロ乾板写真のみ確認でき、精密な復元模写をする上で貴重な資料です。

御後絵は琉球の絵師の技術の粋を集結して制作された絵画作品の中で、最も大きな作品とも言えます。サイズは約150cm四方の絵画で、まずはその大きさの迫力と鮮やかさに引き込まれるでしょう。

御後絵は、皇帝一人を描く中国の肖像画と比べ、玉座に座る琉球国王の左右に家来を配した構図というのが特徴の一つです。また、国王の顔や身体を真正面から捉えているため崇拜の対象として描いた可能性が考えられ、臣下と共に静かに佇むその構図や煌びやかな衣裳からも、往時の国王への深い敬意の念を感じ取ることができます。

御後絵の彩色模写復元の完成に至るまでには、蛍光X線調査などの理化学調査、類似事例の顔料分析やモノクロ撮影実験によるデータ収集の成果を反映しつつ、線描や彩色の一つひとつが手作業で行われました。東京文化財研究所や東京藝術大学の協力を得て、第十七代尚瀛王と第十八代尚育王の御後絵が完成しています。

本展では2つの御後絵の彩色模写復元を展示いたします。威風堂堂たる琉球国王の姿をどうぞご覧下さい。

## 屏風に描かれた 琉装姿の琉球美人

琉球王国時代の上級士族の妻をはじめ艶やかな衣裳に身をつつんだ女性を描いた琉球美人。服飾から往時の身分を垣間見ることができます。

琉球王国には、士(士族)と百姓(平民:庶民)の二つの身分がありましたが、簪(かんざし)や衣服などで互いの身分を即座に判断したといえます。男性の簪が、王族や上級士などは金製、一般士は銀製、後から士に取り立てられた新参士(しんざんし)は銅製、百姓は真鍮製と身分により素材が決まっていたように、それに準じるような区別が女性の簪にもあったようです。百姓層の衣服は、多様な色染めや複雑な柄物は禁止されていたが、本図にある女性たちの衣裳には鮮やかな彩りや華やかな柄が施されているのが見取れます。どこなく気品漂う女性たちの描写に、琉球の歴史を感じ取ってみたいはいかがでしょうか。



右隻第一扇

左隻第五扇

【黄金御殿特別展示室】

## 御後絵と琉球絵画

会期

2018年10月12日(金)～11月29日(木)

※ 作品保護のため、一部展示替えがあります。

# 百人御物参

ももそおもものまいり

首里城・内の世界「御内原」  
秘められた女性たちの  
祭祀世界への扉が開く



## 百人御物参とは

百人御物参は、琉球王国時代に首里城で行われていた祭行事のひとつで、神女達が首里城および周辺の聖域(御嶽)を巡拝します。往時、類似の行事を含めると年に6回程度行われていました。

御嶽では、国王の長寿とその子孫の繁栄、航海安全、国土の安全、五穀豊穡を祈願します。このような御嶽や聖域を巡拝する行事は、首里城だけでなく、琉球全土で行われていました。

## 最高位の神女

琉球王国時代、神への祈りを捧げる役目は神女(しんじょ)たちが担いました。琉球では、古くから女性の霊力に対する信仰をもとに男性を血縁の女性が守護する「おなり神」信仰が信じられてきました。最高神女である聞得大君(きこえおおきみ)には、王族の女性が任命され国王と王国全土を霊的に守護するものとして崇められ、琉球王国の国家安泰を担ってきました。

15世紀以降は、最高女祭司官の聞得大君を頂点とした神女組織が形成され、その下に大アムシラレという上級神女(3人)が首里城内外の祭祀行事を担当する他、首里城を拠点に琉球全土の神女を統轄して



いました。百人御物参は、その大アムシラレを先頭に巡拝したのです。

巡拝する一行は、城外にある聞得大君御殿(きこえおおきみうどうん)や首里殿内(しゅりどうんち)といった王府の祭祀施設へお参りしました。その後、首里城の東側にある継世門(けいせいもん)から登城し、正殿にある火の神や城内の御嶽を巡り、再び城外の重要な御嶽を巡拝して終わります。

百人御物参において祭祀行事を司る神女たちは、正殿裏に秘められた女性だけの空間である御内原と、正殿表側の御庭などの空間を巡るため、この行事は首里城での表の世界と内の世界をつなぐ行事ともいえます。今回は、百人御物参の巡拝コースの一部を再現いたします。琉球の女性たちによる祭祀世界をぜひご体感ください。



平成30年度 首里城公園

首里城・内の世界「御内原」  
秘められた女性たちの祭祀世界への扉が開く

## 百人御物参

実施日 2018年 11月24日(土)・25日(日)  
時間 1回目:12時00分~13時00分 / 2回目:15時00分~16時00分  
場所 首里城正殿前御庭~下之御庭~京の内  
※ 御庭での観覧は、入場料金が必要です。

## 首里城コラム Column

# 琉球王国と空手

武術、教養、芸能の側面をもつ空手

近年では、護身術、演舞、スポーツ、精神修養、などとして、大人から子供まで広く親しまれている空手。沖縄を空手発祥の地として、その魅力は人種を問わず、世界中の人々を魅了し続けています。

ベストキッド(米国名:The Karate Kid)などの映画を通じて世界中で「沖縄空手」の呼び名で親しまれていますが、元来は「手(ティー)」から「唐手(トウデー)」に変化し、琉球処分後の沖縄において共通読みの「唐手(からて)」へと一般化された後に、日本の武道の一角に位置付けされ「空手(からて)」の呼び名に変わっていったとされています。

首里城祭の琉球王朝絵巻行列・伝統芸能行列の中で披露される「空手」ですが、かつての琉球王国においては、「武術」として、「教養」として、「芸能」としてなど様々な側面を持つていたと考えられています。

空手の起源については、琉球固有の徒手武術「舞方」が存在したとされる説や、中国拳法の伝播など諸説ありますが、琉球における徒手武芸は「組合格」「拳法」「拳法術(ツクネス)」「トツクロウ」「手ツクミ(ノ術)」などの他称で表現され、その技法は、殺傷性を持つほどに拳を鍛える「武術」としての側面を備えていたとされています。

また、現在のように大人数で武芸の訓練をしていたのでは無く、個人から個人へ受け継がれ、または少数で稽古さされていたとも言われています。

一六〇九年、薩摩藩の侵略によって幕藩体制に組み込まれましたが、その後も中国皇帝(明清)との冊封を受け二つの体制の下で王権を維持していました。王府は薩摩藩の厳しい武器統制下にあり、琉球の士族は一般に帯刀する習慣はなかったといえます。

近世琉球において、日本の諸芸の奨励と中国文化の導入は、琉球武芸のあり方に強い影響をもたらしたと考えられますが、王府は武芸を本来の実用として重きを置いてはおらず、士族の嗜みの一環として「学文」や「算勘」、「医道」、「馬乗」などと同様に「教養」として受け入れられていたようです。

ところで、冊封は国王の一世一代の盛典ですが、一七二八年、冊封使歓迎の祝賀を充実させるために、玉城朝敷が踊り奉行に任命され、組踊が編まれるようになりました。

組踊は、冠船芸能の重要な演目であり、国家的行事に供される芸能でした。一八六六年、尚泰王が冊封を受けますが、この時の御冠船(うかんしん)の際に創られた組踊(二山和陸)に「ざんわぼく」の台本には、南山の臣下が、「鍵(やり)」や「長刀(なぎなた)」などとともに、「唐手」などの武芸に励む様子が描かれています。また、冊封後には祝賀会が催され、上役、師匠、学生など総勢百十余名が城下を盛大に行列して登城し、諸学芸、武芸の一環として唐手を国王に供したとされています。

10月28日、那覇市国際通りで開催予定の「空手の日開連イイベント」は、尚泰王の冊封後の演武をほうふつとさせ、その勇壮さは多くの人々を魅了することでしょう。ぜひ空手家たちの気魄あふれる演武をご覧ください。



## NEXT EVENT

首里城で迎える初春の慶び

## 新春の宴

しんしゅんのうたげ

2019年 1月1日(火・祝) ~ 1月3日(木)

時間: 8時30分 ~ 17時00分  
場所: 首里城公園 御庭 ほか  
料金: 有料区域は要入館料

琉球王国時代の元旦に首里城で執り行われた儀式「朝拝御規式(ちょうはいおきしき)」国王をはじめ王府の役人が御庭に整列し、中国風の厳粛で壮大な儀式を繰り広げます。新年の幕開けを華やかに彩る琉球王国のお正月をどうぞお楽しみください。

